

(日清別記)

愛社の方々に告ぐ

今回の争議が斯くの如く延び、境になつて不安の極に可
 能に返る事はお互に堪へ得ない地にあるのて、此の
 にお互に得た生活も安定もあり又諸君から御叱咤を
 蒙つて始めて私達の活動も存立するの生気があらはれ
 日も早く奮起に復して和氣霽々の間に生氣ある法を
 いたしたくお思ひます諸君の御諒察を御願ひいたし
 微弱にしては操業の緒につかぬ事を御願ひいたし
 此際同志諸君の御願ひを御願ひいたし
 御願ひを御願ひいたし

牛込区原町二丁目二十五番地

日清愛社同志團

發起人 有志一同

六十四年十二月

(別記)

覺書

予因各社ノ聯盟に於テ時勢ニ鑑ミ將來印刷界ニ於ケル争議ヲ概然ハ
 ノ方法ヲ採リタリ然レモ争議ハ益々擴大シ日清印刷株式會社ニ止マラズ今テ聯盟
 各社ニ波及セントス若シ一社ニテモ聯盟ニ及レ彼等ニ莫ク慮ニ察セラルニ於テハ氣印
 刷界ハ全滅ニ陥ルベレ茲ニ於テ各社利益結束ニ鞏固ニスヘク要ニ左ノ點ニ協
 約ス

一、日清印刷株式會社今回ノ争議ニ基因レ他ノ聯盟社中ニ於テ今迄ノ争議ヲ惹
 起シタル時ハ争議ノ起ラザル聯盟社ノ事情ノ許ス限リハ誠實ニ交渉スルヲ旨
 議工場ノ仕事ヲ引受ケ代テ其聯盟社ノ責任ヲ全クスヘク六十四年十一月
 廿七日ノ覺書ニ於ケル援助ノ趣旨ヲ貫徹レ其中各社ノ貸付金等ニ對シテ
 レ實行スヘキユト